

## 地方創生・しがブランド推進対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和元年7月31日（水）

### 2 調査の概要

#### （1）滋賀県工業技術総合センター 日本酒醸造試験室（栗東市上砥山）

滋賀県工業技術総合センターでは、国の地方創生拠点整備交付金等を活用し、平成29年度から日本酒の醸造試験設備や分析装置の整備を進めているところである。

今後、当設備を新製品や新技術の開発試験に有効活用し、「近江の地酒」の酒造技術を高め、酒質の向上を図っていくことで、「近江の地酒」のブランド力向上が期待される。

こうしたことから、滋賀県工業技術総合センターを訪問し、設備の概要および醸造所に対する新製品開発等の支援について調査を行った。



#### （2）守山市役所（守山市吉身）

守山市では、食と農を中心にしたまちづくりを推進するため、民間事業者やJAおうみ富士、大学等が参画し、食のテーマとしては滋賀県初の産学官農連携である、もりやま食のまちづくりプロジェクトに取り組んでいる。

具体的には、守山市産を中心とした滋賀の農産物を販売する「滋賀乃市」を県内の量販店に開設し、地産地消を促進する取り組みや、栽培の存続が危ぶまれていた近江の伝統野菜である「守山矢島かぶら」のブランド化、さらには6次産業化による特産品の開発等、2013年のプロジェクト開始以降、積極的に事業展開されている。

こうしたことから、守山市を訪問し、もりやま食のまちづくりプロジェクトについて調査を行うとともに、事業者や団体の皆さんと、食と農を中心としたまちづくりによる地域の活性化や地元農産物のブランド力向上について意見交換を行った。

